

歌志内市公立病院改革プランの実施状況に関する
点検・評価報告書（平成 22 年度分）

平成 24 年 1 月

歌志内市行財政改革検討委員会

I はじめに

「歌志内市公立病院改革プラン」(歌志内市立病院経営健全化計画に包含。)は、平成19年12月に総務省において策定された「公立病院改革ガイドライン」や医療環境の変化を踏まえながら、当病院が地域の中で果たすべき役割、目指すべき医療を明らかにした上で、病院経営の改革を総合的に押し進めるため、平成21年3月に策定され、その取り組み状況についての点検・評価を平成21年度決算から本委員会で行っているところである。

今般、平成22年度決算が市議会で認定されたことから、「公立病院改革ガイドライン」で示された「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の3つの視点により点検・評価を行ったので、ここに報告する。

II 点検・評価結果

1 経営の効率化について

平成22年度は、収入については普通交付税と特別交付税の病床単価が改定増(P4<参考資料>「普通交付税と特別交付税の1ベッド当たり病床単価の推移」参照)となったことに伴う一般会計繰入金の増額で大幅な収入増となったことと併せ、支出においても薬品購入の減及び重油単価の減により燃料費が減となったことなどで支出減となったことが収支状況に大きく反映された。

また、患者動向による収入状況では、外来収益にあつては患者数及び診療単価の減により収入減となった。一方、入院収益にあつては、患者数の減少の反面、診療報酬に反映される医療必要度の高い患者数の増により、計画を大きく上回ることになった(P4<参考資料>「外来・入院における患者数・診療単価・収益の推移」参照)。

この結果、計画においては4,658万7千円の純損失となる見込みだったが760万2千円の当期純利益を計上することになった。

今後においても、診療報酬体系を踏まえた効率的な病院運営を推進し、経営の健全化に努めること。

なお、数値目標に対する評価については、客観的に行うため、次の評価区分を設けた。

区 分	評 価 の 内 容
A (適正)	公立病院改革プランと比較し、100%以上の実績
B (概ね適正)	公立病院改革プランと比較し、95~100%未満の実績
C (やや不適)	公立病院改革プランと比較し、50~95%未満の実績
D (不適)	公立病院改革プランと比較し、50%未満の実績

① 経常収支比率（経常収益/経常費用）

計画では、91.7%で見込んでいたが、101.4%の実績のため、達成率 100%以上となり、評価は「A」となった。

区 分	20 年度 実 績	21 年度 実 績	22 年度		
			計画値	実 績	達成率 (%)
経常収益 (千円)	532,250	560,843	514,436	556,391	—
経常費用 (千円)	517,195	554,074	561,023	548,789	—
経常損益 (千円)	15,055	6,769	▲46,587	7,602	—
経常収支 比率 (%)	102.9	101.2	91.7	101.4	110.6

※20年度実績の経常収益には、減債積立金取り崩し相当分の 13,727 千円が含まれている。

② 職員給与費対医業収益比率（職員給与費/医業収益）

計画では、医師 3 名を市職員（計画策定時は、医師 2 名が市職員、非常勤嘱託医師 1 名が在籍）とし、平均 18%削減の給与抑制措置を継続実施することにより 62.5%と計上していたが、実績においては給与抑制措置復元（5～8%削減）となるも、医師 2 名が嘱託医師となったことなどにより、56.9%の実績のため、達成率 100%以上となり、評価は「A」となった。

区 分	20 年度 実 績	21 年度 実 績	22 年度		
			計画値	実 績	達成率 (%)
医業収益 (千円)	412,707	421,398	405,504	416,844	—
職員給与費 (千円)	213,790	209,535	253,312	237,230	—
職員給与費 対医業収益 比率 (%)	51.8	49.7	62.5	56.9	109.8

※職員給与費は、「地方公営企業決算状況調査」の算出方法と同様に児童手当、賃金、報酬、退職手当組合負担金を除く。

③ 病床利用率（年延入院患者数/年延稼働病床数）

計画では、許可病床数 60 床のところ 1 日平均 58.4 人により、97.3%で見込んでいたが、96.7%（1 日平均 58.0 人）の実績のため、達成率 99.4%となり、評価は「B」となった。

収入の確保のため、高い病床利用率を維持していることについては評価するところであり、今後もこの高い病床利用率を維持していく必要はあるが、医療必要度の高い入院患者が増加することにより、医師や看護師の負担が過重になりすぎないように、入院患者の受け入れに当たってはこれまでどおり十分配慮すること。

区 分	20 年度 実 績	21 年度 実 績	22 年度		
			計画値	実 績	達成率 (%)
年延入院患者数 (人)	21,437	20,699	21,317	21,176	—
年延稼働病床数 (床)	21,900	21,900	21,900	21,900	—
病床利用率 (%)	97.9	94.5	97.3	96.7	99.4

2 再編・ネットワーク化について

中空知圏域における再編・ネットワーク化については、平成 20 年 1 月に北海道が策定した「自治体病院等広域化・連携構想」に基づき、平成 21 年 9 月に当圏域内の各自治体病院の事務長を委員とする「中空知保健医療福祉圏域連携推進会議」の専門部会において、「中空知圏域における自治体病院の今後の方向性について（改訂版）」が策定された。

この中で、各自治体病院はそれぞれの市町の基幹病院としての役割を担うとともに、相互に連携を図りながら各々の特性に応じた役割を果たしていくよう求められている。

当病院においては、これまで市内の基幹病院として市民の初期医療を担うとともに、圏域内の急性期病院等から患者を受け入れ、慢性期医療を提供する病院としてその機能を十分に果たしていることについて評価するところである。

今後においても、引き続き砂川市立病院や滝川市立病院及び介護施設等との連携を図り、中空知圏域内の慢性期医療を担っていくことを期待する。

3 経営形態の見直しについて

当病院は、過疎地・不採算地域という状況の中、地域になくってはならない初期医療と慢性期疾患の患者に対応する診療体制で運営している。

近年、当中空知圏域内においても、急性期医療から継承する慢性期医療

の提供がますます重要となっていることから、可能な限り現在の医療療養病床体制で運営していくことが望ましい姿であるが、今後、地域医療を取り巻く経営環境の変化などに応じ、あらゆる選択肢を含めた経営形態への移行を検討していくことが必要である。

<参考資料>

○診療科・病棟体制等の変遷

区 分	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度以降
診 療 科	内科 小児科 外科	内科 小児科 外科（週 2 日診療）		内科 小児科	
許可病床数	病床 90 床 一般 54 床 療養 36 床		病床 75 床 （全床療養）	60 床 （全床療養）	
特 記 事 項	整形外科廃止	医事係廃止し民間委託	・救急告示廃止 ・リトゲン技師が医療相談兼務	・外科廃止 ・院外処方箋発行	臨床検査技師が経理事務兼務

○普通交付税と特別交付税の 1 ベッド当たり病床単価の推移

区 分		20 年度 実 績	21 年度 実 績	22 年度		
				計画値 A	実 績 B	差引 B-A
普通交付税 （千円）	単 価	482	594	482	701	219
	交付額	43,380	53,460	28,920	52,575	23,655
特別交付税 （千円）	単 価	680	820	680	820	140
	交付額	40,800	49,200	40,800	49,200	8,400

※普通交付税における算定病床数は、病床削減の経過措置により 21 年度までは特例分の 30 床が加算され 90 床で算定。22 年度は特例分の 15 床が加算され 75 床分が交付されている。なお、22 年度の計画値においては 15 床の特例分を見込んでいなかった。

○外来・入院における患者数・診療単価・収益の推移

区 分		20 年度 実 績	21 年度 実 績	22 年度		
				計画値 A	実 績 B	差引 B-A
外 来	患者数（人）	17,374	17,295	16,958	16,439	▲519
	診療単価（円）	4,213	3,984	4,230	4,156	▲74
	収益（千円）	73,201	68,895	71,737	68,321	▲3,416
入 院	患者数（人）	21,437	20,699	21,317	21,176	▲141
	診療単価（円）	14,566	15,553	14,250	15,069	819
	収益（千円）	312,249	321,921	303,767	319,105	15,338

○空知管内における公立病院病床利用率調べ（21年度実績）

		病 床 数						病床利用率 (%)
		一 般	療 養	結 核	精 神	感染症	計	
北 空 知	深川市立総合病院	266				4	270	73.3
	幌加内町国保病院	8	42				50	57.2
中 空 知	砂川市立病院	408		6	103	4	521	71.1
	滝川市立病院	300			50		350	72.3
	市立赤平総合病院	120	60				180	70.8
	市立芦別病院	160	29				189	56.9
	歌志内市立病院		60				60	94.5 (96.7)
	奈井江町立国保病院	46	50				96	70.5
南 空 知	岩見沢市立総合病院	365			115	4	484	92.3
	岩見沢市立栗沢病院		85				85	85.0
	市立三笠総合病院	134			65		199	76.4
	市立美唄病院	53	45				98	73.5
	国保月形町立病院	40					40	86.4
	町立長沼病院	110	45		44		199	59.4
	国保南幌町立病院	26	54				80	51.3
	由仁町立病院	12	45				57	76.4

※「平成21年度地方公営企業決算状況調（平成23年3月発行）」より抜粋。

なお、歌志内市立病院の病床利用率の下段（ ）は、22年度の病床利用率実績を掲載。